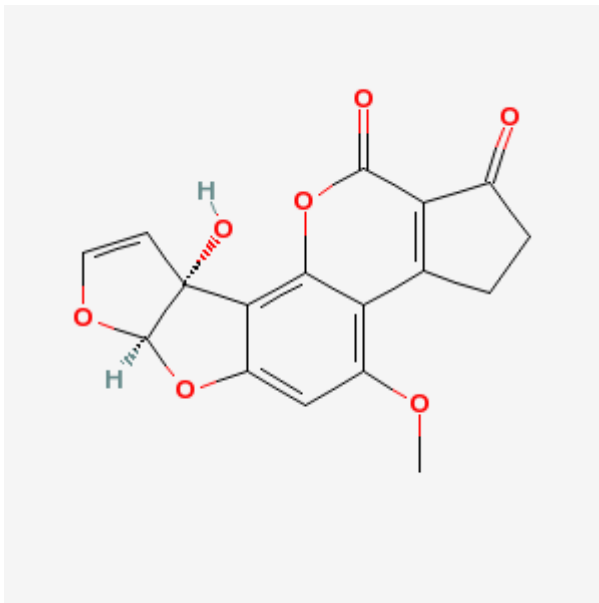


アフラトキシンM1

4位が水酸化されたアフラトキシンBの代謝物で、**ASPERGILLUS**に汚染された食品に含まれるマイコトキシンのひとつ。肝障害や肝臓癌にかかわっており、P450の活性化を経てエポキシドによるDNAのアルキル化を引き起こす。

毒性は肝臓の酵素に依存しており、活性化するもの(シトクロムP450)と無毒化するもの(グルタチオンSトランスフェラーゼ)のバランスによる(Pharmac Ther 50.443 1991)。霊長類やラットは敏感だが、マウスやハムスターは耐性がある(Canc Res 29.236 1969)。

名前 Aflatoxin M1



化学構造, 毒

From:
<https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link:
<https://bio.edu-wiki.org/%E3%82%A2%E3%83%95%E3%83%A9%E3%83%88%E3%82%AD%E3%82%B7%E3%83%B3m1>

Last update: 2013/01/31 05:38

